

障がい福祉に関するアンケート 調査結果報告書

新庄市成人福祉課障がい福祉推進室

令和2年7月

1. アンケート調査の概要

アンケートは、障がい福祉における各種計画策定、および、障がい者の差別解消に関する条例の基礎資料とするため、障がい者のみならず、さまざまな分野を対象とした標本調査として、健常者向けと障がい者向けに内容を変えて実施しました。

一般向けアンケート（健常者向け） 設問数 9 問

調査内容	障がい者との関わりや、差別のない社会を作るために必要だと感じる事項などを調査		
配布対象	市内公共交通企業、市内一般企業、区長、民生委員、児童委員、社会教育施設、生涯スポーツ施設、市内専修学校		
配布数	895 通	回答数	回答数：520 通（回答率 58.10%）

障がい者向けアンケート 設問数 16 問

調査内容	現在の状況や希望するサービスや生活の場、災害時における現状と差別を感じる場面、必要だと感じる施策の方向性などを調査		
配布対象	市内福祉サービス事業所利用者、郡内施設入所者、市内精神病院入院者、身体障がい者協会会員		
配布数	570 通	回答数	回答数：226 通（回答率 39.65%）

いずれも、調査期間は令和 2 年 6 月～7 月で、対象へ直接配布により実施しました。両アンケートとも、未記入部分を抜いて集計しているため、回答者数と各設問の個別回答数が一致しない場合があります。

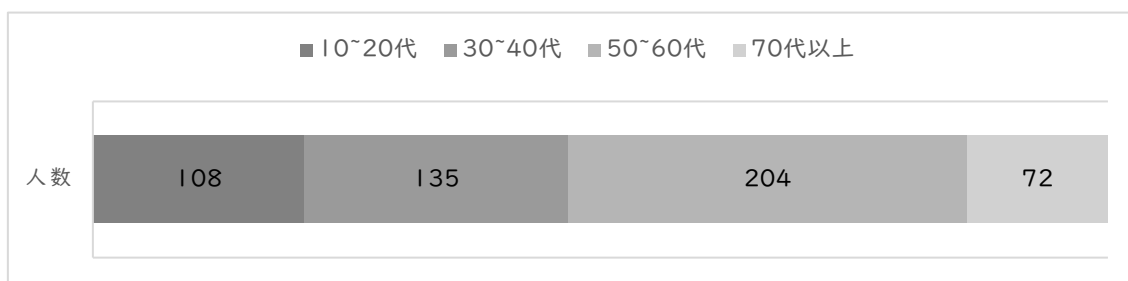
本アンケート結果に関しては、前記の障がい福祉に関する計画内で、現状把握として調査結果を公表する予定です。

一般向けアンケート 調査結果

2. 一般向けアンケート調査結果

問 1 あなたの年齢を教えてください。

設問	人数	構成比
10～20代	108	20.8%
30～40代	135	26.0%
50～60代	204	39.3%
70代以上	72	13.9%
合計	519	100.0%



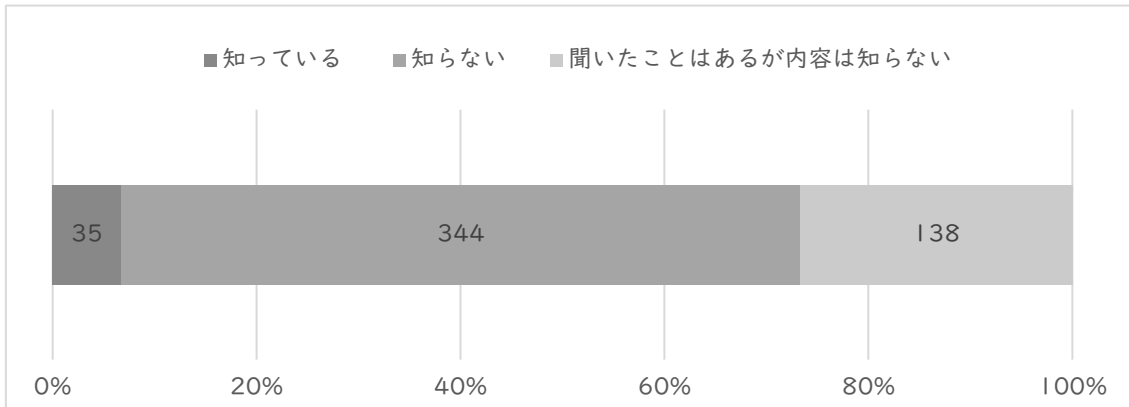
問 2 あなたの日常生活で障がいのある人との関わりはどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)

設問	10～20代	30～40代	50～60代	70代以上	合計	構成比
自分に障がいがある	2		3	2	7	1.35%
家族や親族にいる	13	29	66	15	123	23.75%
友人や知人にいる	19	15	30	14	78	15.06%
学校にいる	7				7	1.35%
職場や仕事で関わる	3	27	19	4	53	10.23%
関わりがない	63	64	80	32	239	46.14%
その他			6	5	11	2.12%
合計	107	135	204	72	518	

各年代とも半数程度が障がいのある人と関わりがない現状にあります。ただし、50代以上になると、近親者や身近に障がいを持つ人が増える傾向にあるようです。

問 3 「山形県障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」(障がい者差別解消条例)が、平成28年4月1日から施行されましたが、この条例を知っていますか。

設問	人数	構成比
知っている	35	6.77%
知らない	344	66.54%
聞いたことはあるが内容は知らない	138	26.69%



一般における条例の認知度は6%程度であり、ほぼ浸透していないことがわかりました。

問 4 ここ5年くらいの間に、障がいのある人が差別されているところを見たことはありますか。または障がいのある人に偏見を持ったり、差別したことはありますか。

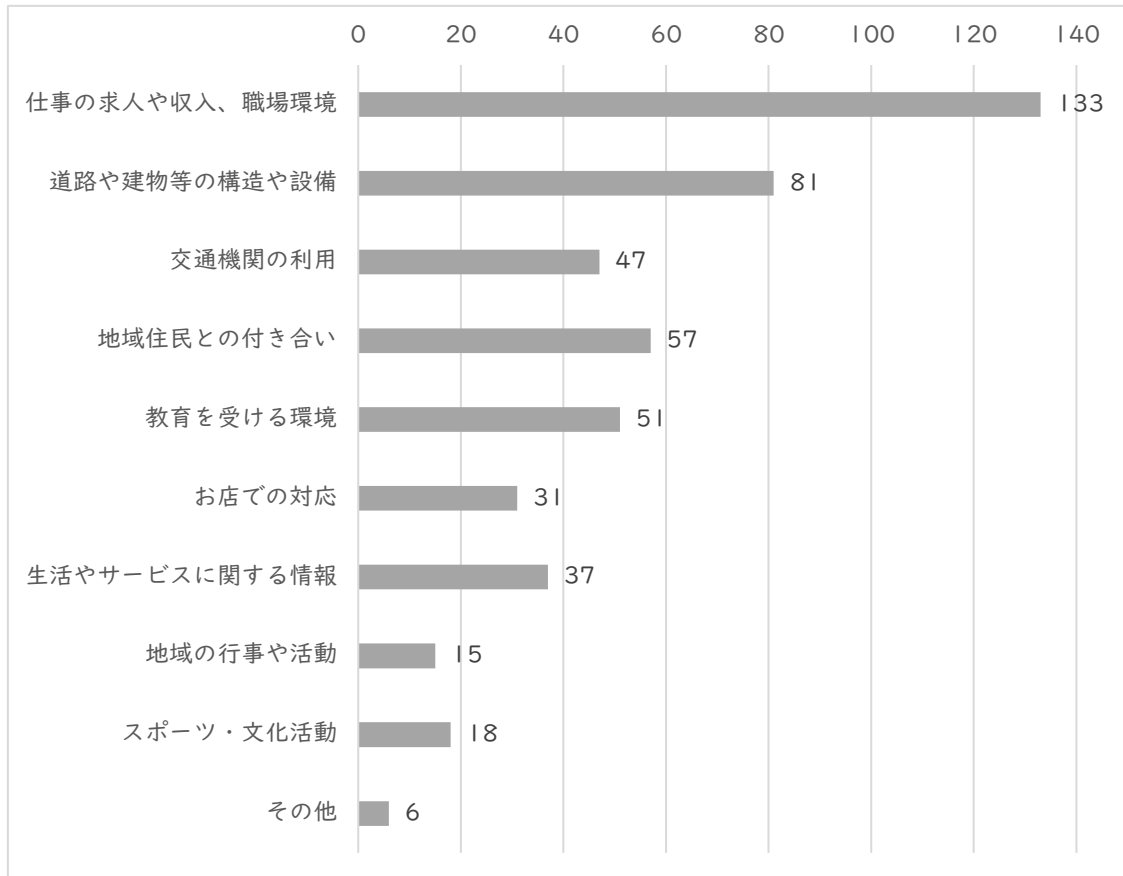
設問	10～20代		30～40代		50～60代		70代以上		合計	
ある	15	13.89%	11	8.15%	18	8.82%	5	6.94%	49	9.44%
ない	75	69.44%	108	80.00%	160	78.43%	58	80.56%	401	77.26%
わからない	18	16.67%	16	11.85%	26	12.75%	9	12.50%	69	13.29%
合計	108		135		204		72		519	

他の年代と比べ、若年層において差別や偏見などが多いことがわかりました。

問 5 現在、障がいのある人への偏見や差別または配慮のなさがあると思いますか。

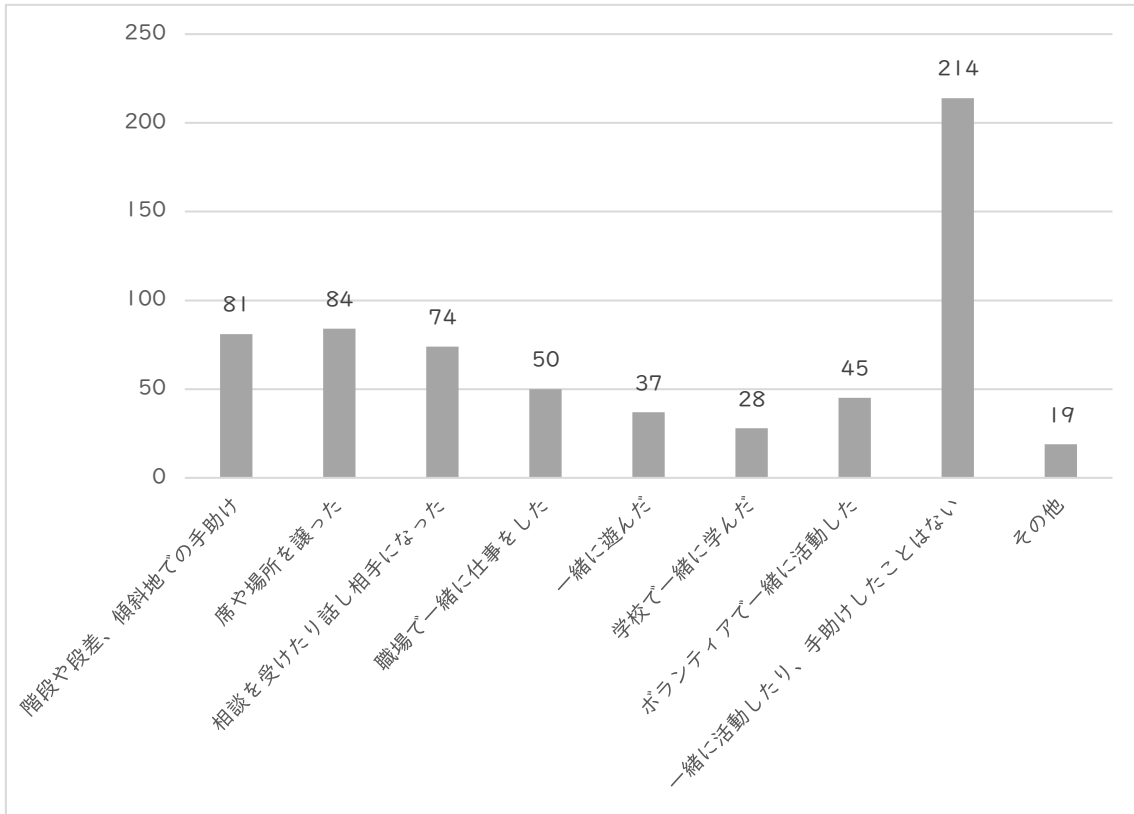
設問	人数	構成比
思う	226	43.55%
思わない	124	23.89%
わからない	169	32.56%

問 6 問5で「1. 思う」と回答した方にお聞きします。どのようなところに障がいのある人への偏見や差別または配慮のなさを感じますか。(特にあてはまるもの3つまで○)



約半数の人が、障がい者への差別や配慮の無さを感じており、その内容のうち、就労環境に差別等を感じる人が28%で一番多く、次いでバリアフリーに関する部分が17%となりました。

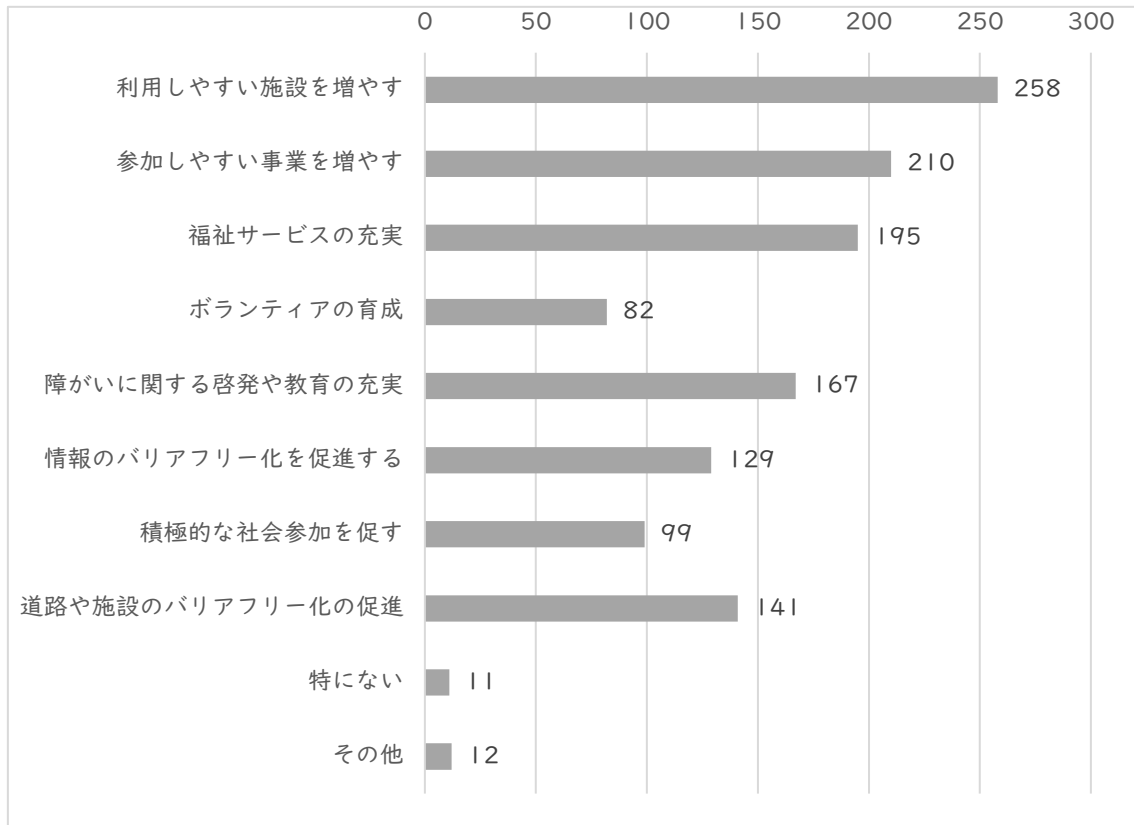
問 7 この5年間で、障がいのある人と一緒に活動したり、手助けしたことはありますか。また、ある場合はどのような活動や手助けをしましたか。(あてはまるもの全てに○)



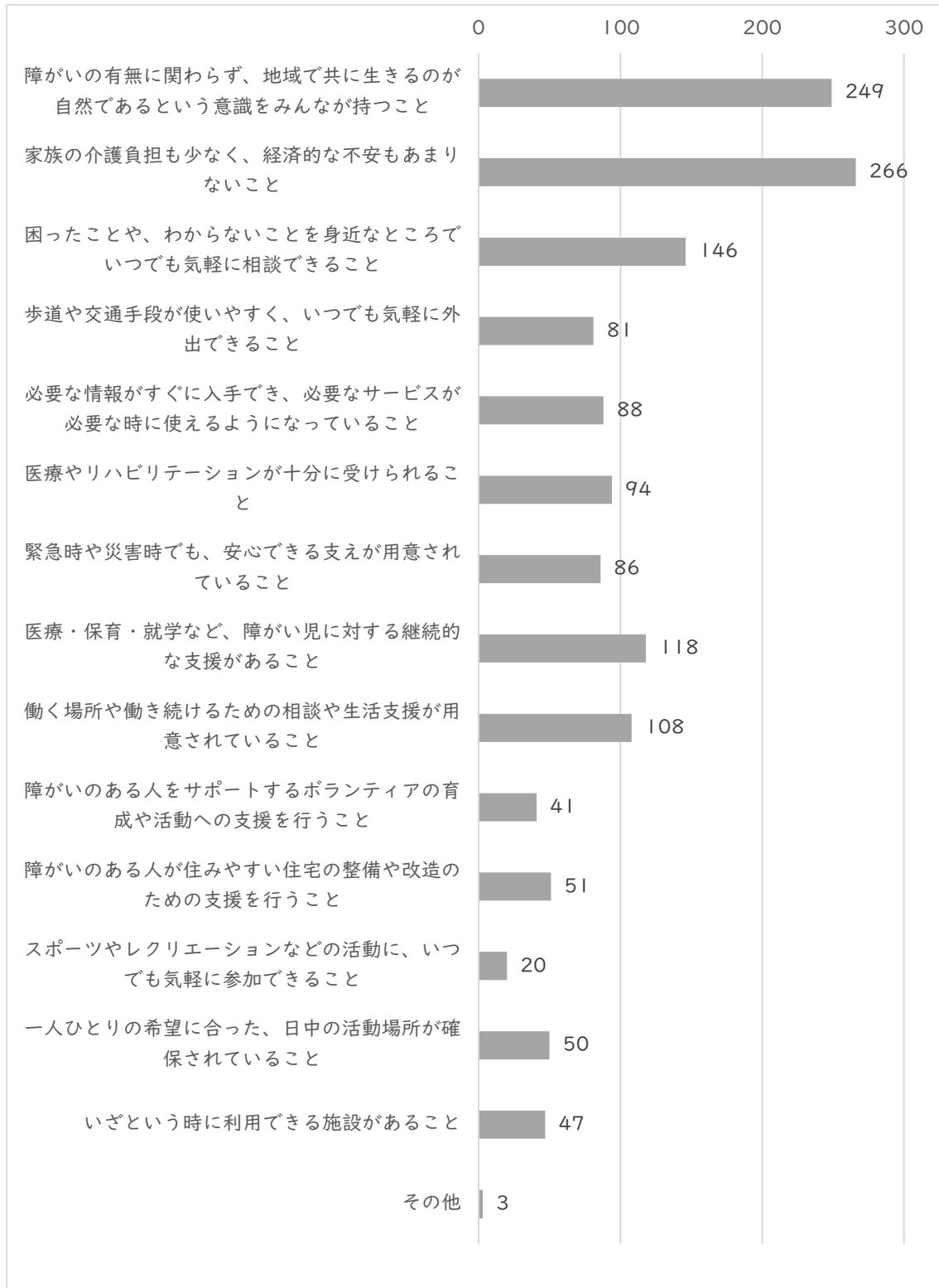
設問	10~20代		30~40代		50~60代		70代以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
階段や段差、傾斜地での手助け	9	7.0%	12	7.7%	43	17.2%	17	17.3%	81	12.8%
席や場所を譲った	17	13.2%	15	9.7%	37	14.8%	15	15.3%	84	13.3%
相談を受けたり話し相手になった	12	9.3%	12	7.7%	32	12.8%	18	18.4%	74	11.7%
職場で一緒に仕事をした	6	4.7%	23	14.8%	18	7.2%	3	3.1%	50	7.9%
一緒に遊んだ	5	3.9%	15	9.7%	10	4.0%	7	7.1%	37	5.9%
学校で一緒に学んだ	24	18.6%	3	1.9%	1	0.4%	0	0.0%	28	4.4%
ボランティアで一緒に活動した	11	8.5%	5	3.2%	21	8.4%	8	8.2%	45	7.1%
一緒に活動したり、手助けしたことはない	45	34.9%	66	42.6%	78	31.2%	25	25.5%	214	33.9%
その他			4	2.6%	10	4.0%	5	5.1%	19	3.0%
合計	129		155		250		98		632	

回答者のうち 41%は、過去五年間で障がいのある人と関係をもったことがありませんでした。また、高齢者の方が障がいのある人に手助けをしている割合が高い事が分かりました。

問 8 障がいのある人が、積極的に社会に参加できるようにするために、必要だと思うことはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つまで○)



問 9 障がい福祉の施策として、力をいれていくべきことは何だと思いますか。将来、あなた自身や家族が障がいを持った場合も考慮してお答えください。(特にあてはまるもの3つまで○)



障がい者向けアンケート 調査結果

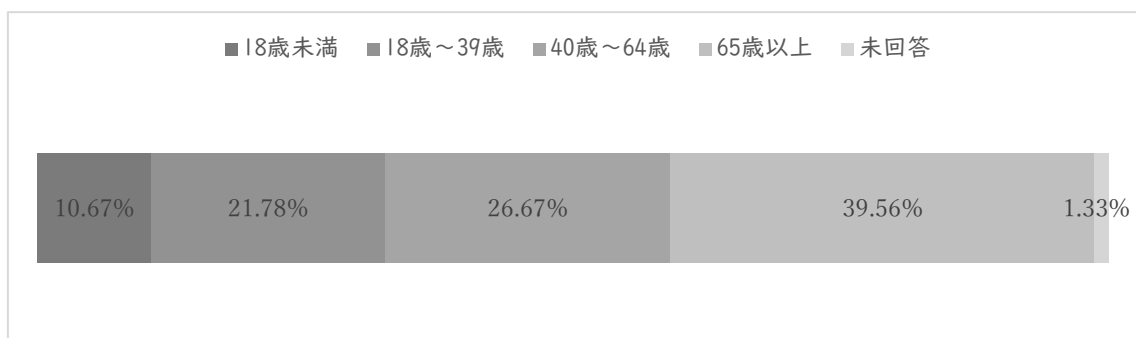
3. 障がい者向けアンケート調査結果

問 1 お答えいただくのは、どなたですか。

設問	人数	構成比
本人（障がいのある方）	132	58.67%
本人の家族	78	34.67%
本人の家族以外の介助者	15	6.67%
合計	225	100.00%

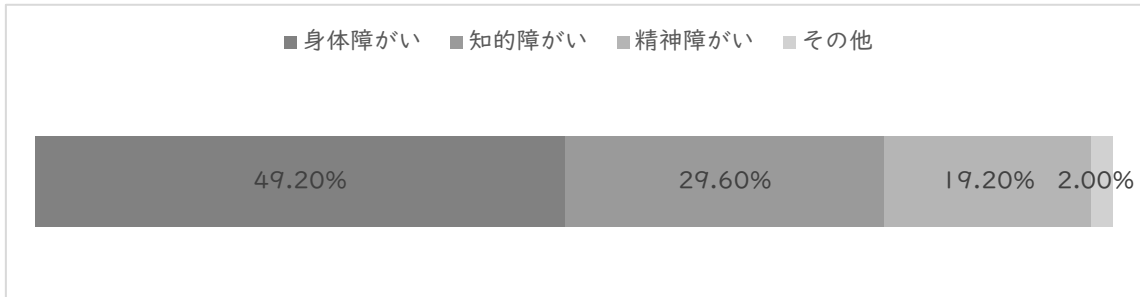
問 2 年齢は次のうちどれにあてはまりますか。（令和2年6月1日現在）

設問	人数	構成比
18歳未満	24	10.67%
18歳～39歳	49	21.78%
40歳～64歳	60	26.67%
65歳以上	89	39.56%
合計	222	100.00%



問 3 障がい種別をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

設問	人数	構成比
身体障がい	123	49.20%
知的障がい	74	29.60%
精神障がい	48	19.20%
その他	5	2.00%
合計	250	100.00%



問 4 現在の生活環境は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

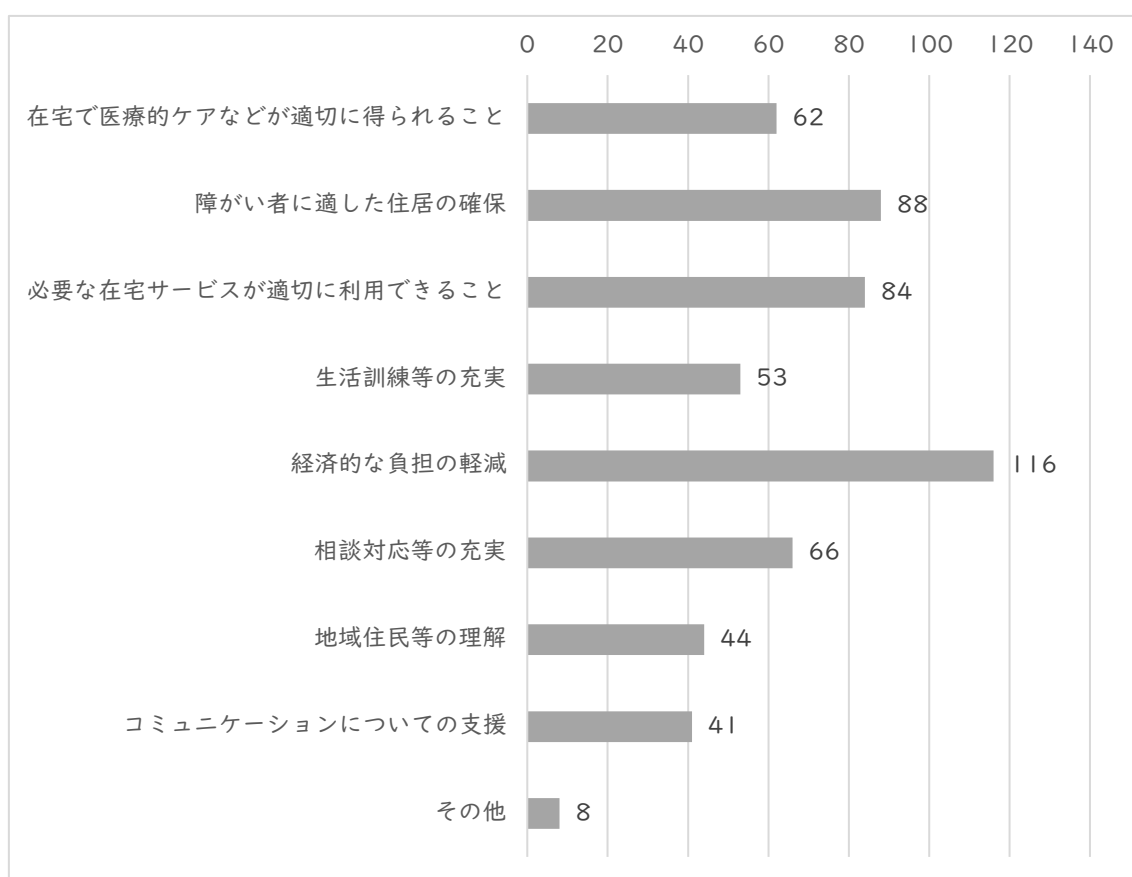
設問	人数	構成比
父母・祖父母・兄弟と同居	83	31.68%
夫または妻と同居	42	16.03%
子どもと同居	52	19.85%
一人で暮らしている	19	7.25%
グループホーム	26	9.92%
福祉施設	25	9.54%
病院に入院している	15	5.73%
合計	262	100.00%

問 5 今後、どのような暮らしがしたいですか。

設問	一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	福祉施設	グループホーム	その他	合計
父母・祖父母・兄弟と同居	0	59	3	6	3	71
夫または妻と同居	0	36	4	1	0	41
子どもと同居	1	43	6	0	1	51
一人で暮らしている	10	4	1	3	1	19
グループホーム	8	4	4	7	1	24
福祉施設	3	6	13	3	0	25
病院に入院している	5	4	2	2	2	15
合計	27	156	33	22	8	246

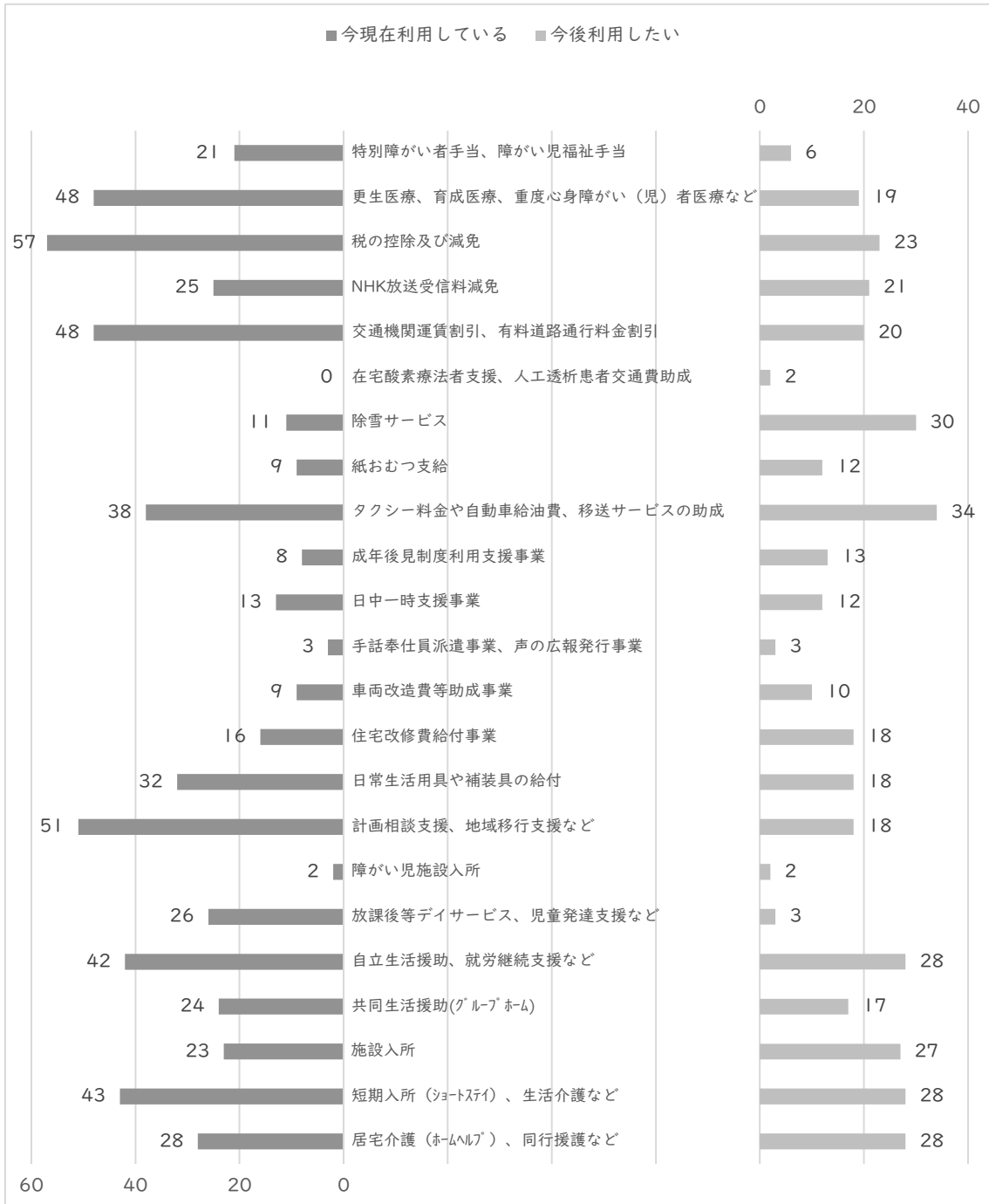
障がいのある人のうち、家族と離れて暮らしている人は全体の 32%程度でした。また全体として現在の暮らしをそのまま継続したい傾向にあるようですが、家族と共に暮らすことを希望している人の割合も高いです。

問 6 希望する暮らしを送るためには、どんな支援があればよいと思いますか。(特にあてはまるもの3つに○)



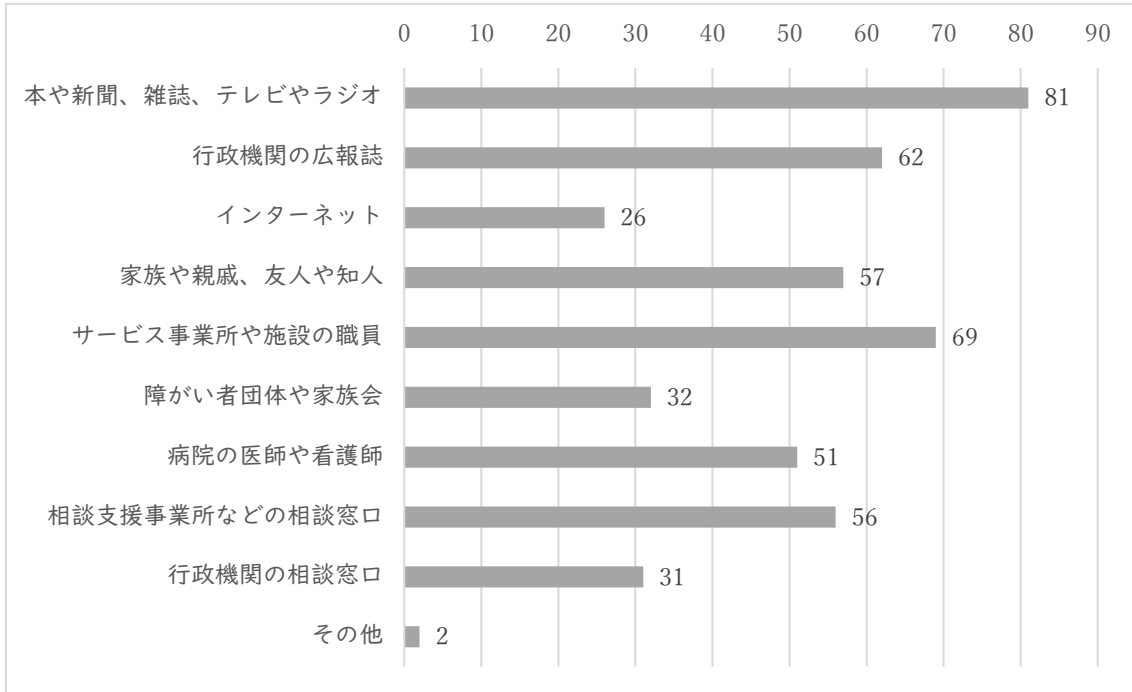
問5のとおり、住み慣れた地域で家族とともに暮らすことを希望する人が多い中、在宅における福祉支援に関する要望と、経済的支援を求める声が多い結果となりました。

問 7 次の1から23の福祉サービス等で、現在利用しているものはありますか。また、今後利用したいと思うサービスはどれですか。あてはまるサービスの番号すべてを記入してください。



今後の福祉サービス利用意向については、移動や除雪など、生活に関係するニーズが高いことがわかりました。また、問5・6の傾向と同様に、在宅支援や居宅サービスに関連するニーズが高い結果となっています。

問 8 福祉サービス等について、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)



問 9 火事や地震等の災害時に一人で避難できますか

設問	人数	構成比
できる	67	30.88%
できない	112	51.61%
わからない	38	17.51%
合計	217	100.00%

問 10 問9で、「2. できない」または「3. わからない」とお答えした方にお聞きします。家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただを助けてくれる人はいますか。

設問	人数	構成比
いる	42	28.00%
いない	51	34.00%
わからない	57	38.00%
合計	150	100.00%

災害時における対応では、回答者のうち、実に7割が避難できない、またはわからないと回答しており、そのうち7割が助けてくれる人がいない、またはわからないと回答しています。結果として、約半数の障がい者が単独では避難困難な状況であることがわかりました。

問 11 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(特に困ること3つまで○)

設問	人数	構成比
投薬や治療が受けられない	76	15.64%
補装具の使用が困難になる	23	4.73%
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	22	4.53%
救助を求めることができない	45	9.26%
安全な所まで、迅速に避難することができない	109	22.43%
被害状況、避難場所の情報が入手できない	44	9.05%
周囲とコミュニケーションがとれない	58	11.93%
避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	107	22.02%
その他	2	0.41%
合計	486	100.00%

問 12 「山形県障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」(障がい者差別解消条例)が、平成28年4月1日から施行されましたが、この条例を知っていますか。

設問	人数	構成比
知っている	50	23.15%
知らない	110	50.93%
聞いたことはあるが内容は知らない	56	25.93%

<参考 一般向けアンケート同設問>

設問	人数	構成比
知っている	35	6.77%
知らない	344	66.54%
聞いたことはあるが内容は知らない	138	26.69%

参考のとおり、一般向けアンケートの同設問に比べれば、障がいのある人における条例の認知度は高いものの、当事者であっても、8割近くが内容を認知していない状況にあることがわかりました。

問 13 社会の中に障がいのある人への偏見や差別または配慮のなさがあると思いますか。

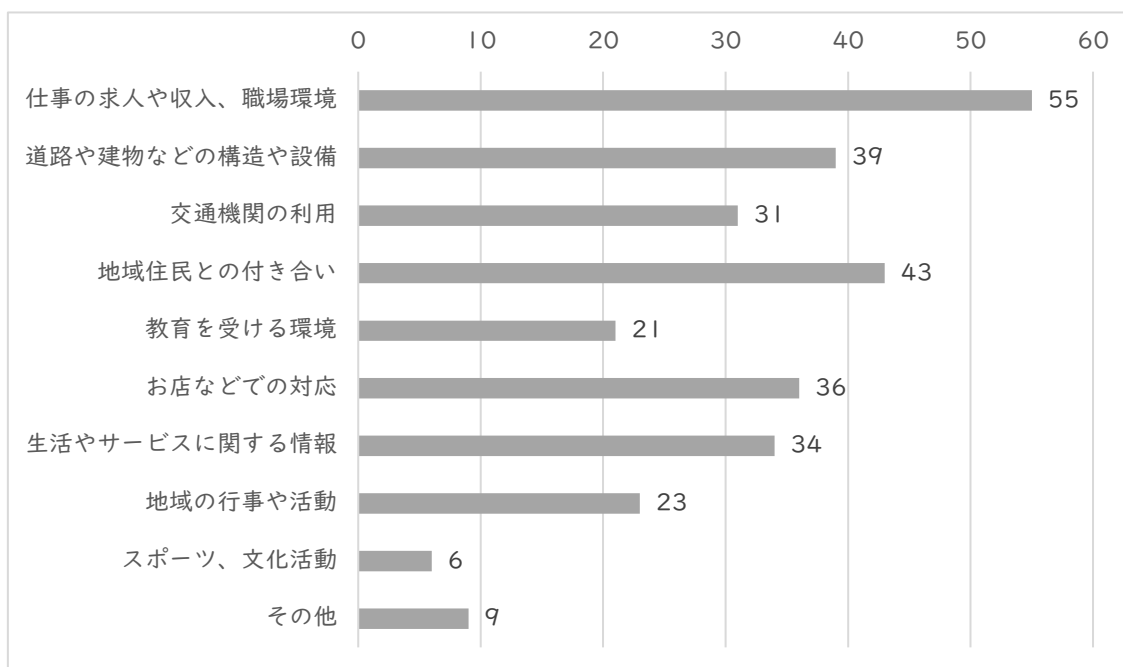
設問	人数	構成比
思う	122	56.74%
思わない	38	17.67%
わからない	55	25.58%

<参考 一般向けアンケート同設問>

設問	人数	構成比
思う	226	43.55%
思わない	124	23.89%
わからない	169	32.56%

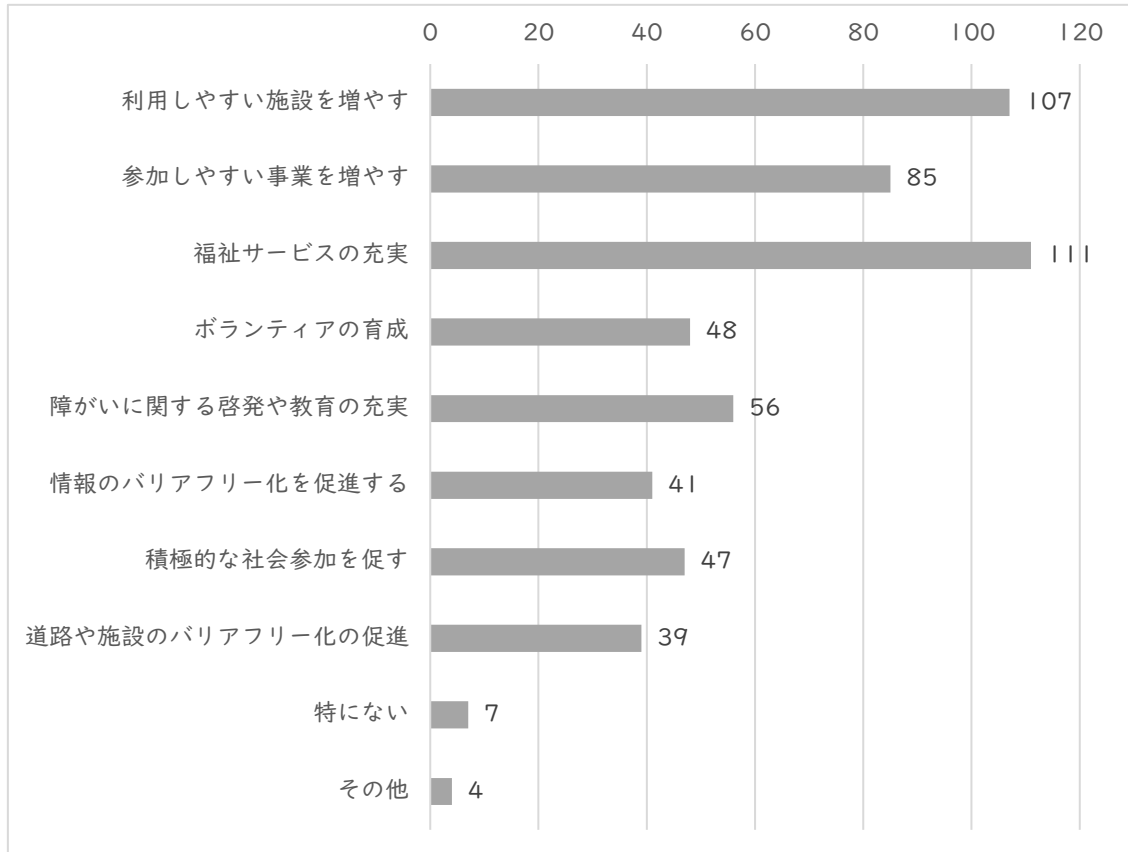
参考のとおり、一般向けアンケートの結果と比べると、障がいのある人のほうが、差別や偏見を感じており、当事者意識と第3者の意識の間にギャップがあることがわかりました。

問 14 問13で「1. 思う」と回答された方にお聞きします。どのようなところに偏見や差別または配慮のなさを感じますか。(特にあてはまるもの3つまで○)



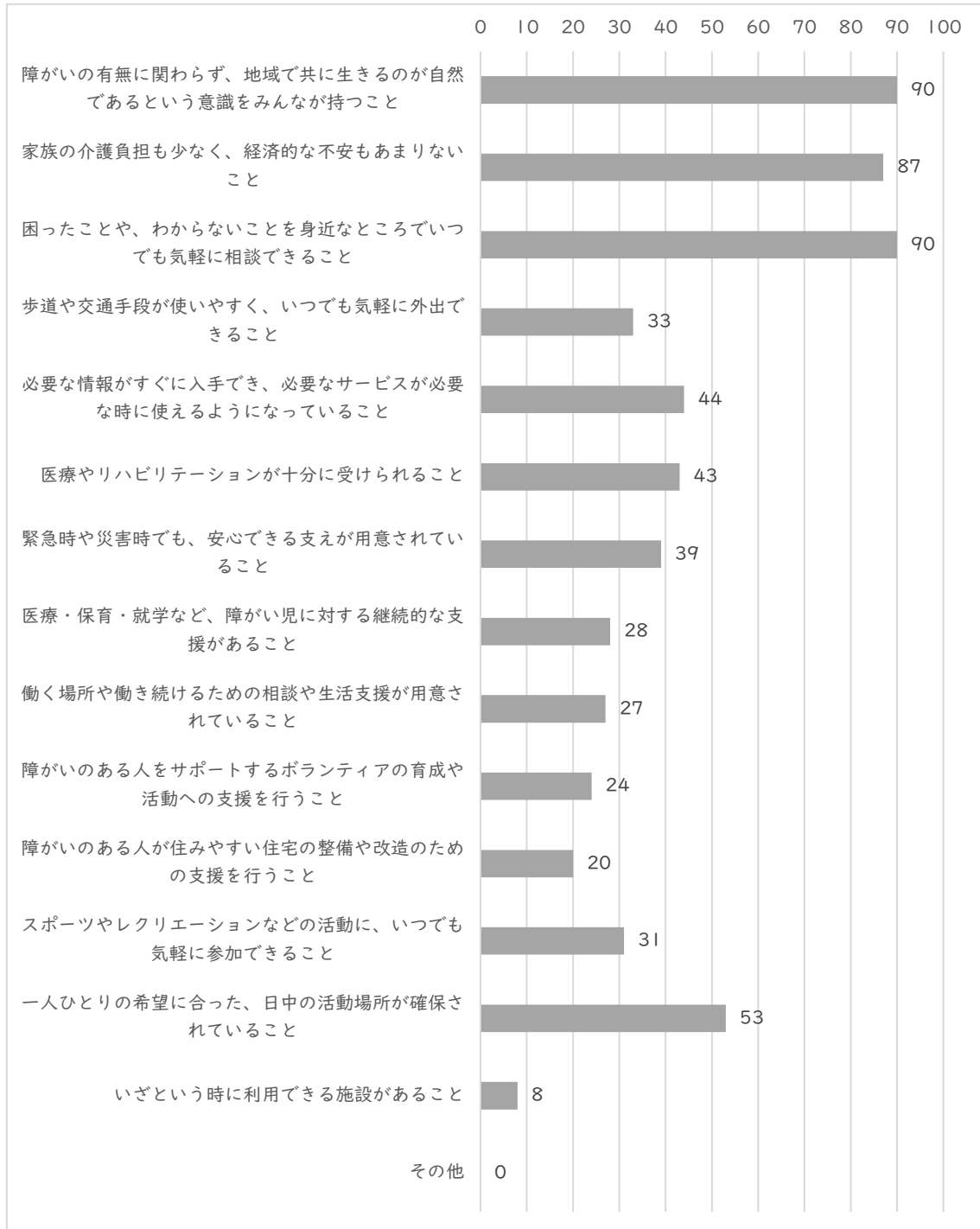
一般向けアンケートの同設問と比較すると、当事者は、地域でのコミュニケーションやお店・生活に関連する部分で、差別や偏見を感じる場面が多いことがわかりました。

問 15 障がいのある人が、積極的に社会に参加できるようになるために、必要だと思うのはどのようなことですか。(特にあてはまること3つまで○)



一般向けアンケートの同設問では、施設に関する回答数が多い結果でしたが、障がいのある人では福祉サービスの充実を求める回答が多くありました。

問 16 障がい福祉の施策として、力をいれていくべきことは何だと思えますか。(特にあてはまること3つまで〇)



一般向けアンケートの同設問と比較して、相談支援に関する要望と、日中活動に関する要望が多い結果となりました。